

成績評価・表示の方法

成績評価は、科目担当教員がその試験成績に出席状況その他を加味して行う。合格した場合、成績の表示は良い方からA、B、C、Dの4段階にわけ、所定の単位を与える。単位を取得できないときはFと表示する。

【成績評価とGPA制度について】

成績評価が5段階（A、B、C、D=合格、F=不合格）に区分され成績表に表記される。又、それと併せてGPA（grade point average）による成績評価を導入している。

GPAとは成績評価方法の一つであり、本学では授業科目ごとの成績を5段階（A=4.0、B=3.0、C=2.0、D=1.0、F=0）で評価し、単位あたりの平均値を出すシステム。

この制度の導入の理由は、本学学生の学期ごとなど、一定期間の履修と学習の状況が数値化されることにより、きめ細かな学習アドバイスが可能となり、又、成績優秀者への奨学金の給付や履修コースの決定、卒業時の学業優秀者を表彰するための客観的なデータとして利用するためである。

GPA = 取得ポイントの合計 / 総履修単位数

※取得ポイントは「評価を受けた科目で得たポイント（GP）×単位数」

成績評価	A	B	C	D	F（不可）
得点	100～90	89～80	79～70	69～60	59～
GP	4.0	3.0	2.0	1.0	0
（例）	〇〇学	4単位	得点：92点	評価：A	GP：4.0
	△△論	2単位	得点：85点	評価：B	GP：3.0
	☆☆学	2単位	得点：10点	評価：F	GP：0

以上3科目履修の場合

$$GPA = (4.0 \times 4 + 3.0 \times 2 + 0 \times 2) \div (4 + 2 + 2) = 2.75$$

（注意点）

- GPAは平均的な能力を評価する制度であり、特定の分野で秀でた成績をとっても評価はあくまでも平均化される。
- 本学では、卒業要件科目のみをGPA対象科目とする。ただし、卒業要件科目のうち一部のグレード別の科目および、資格関連科目（教職に関する専門科目）等は除く。
- GPAでは、F（不可）も含めて算出され評価全体に影響する。そのため、選択科目で履修を中止した場合でも評価に含まれるため、GPAは下がる。